



議会だより

このころえ

No.99 2012.10.17発行



飯田中学校体育祭



野上中学校体育祭

- 9月定例会
- 24年度補正予算及び追加議案 P.2~3
 - 常任委員会報告 P.4~5
 - 一般質問 4名 P.6~9
 - わたしのひとこと P.11

下 旦 四 穴井洋一郎さん
申 野 上 梅木 香織さん



東飯田中学校体育祭



南山田中学校体育祭

発行／九重町議会
編集／議会広報特別委員会
平成24年10月17日
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

九重町から全国へ

● 4年に一度全国消防操法大会へ
九重町消防団第12分団27部



武石 文六さん (指揮者) 小田 恵司さん (3番員)
 櫛山 浩二さん (1番員) 池部 誠さん (4番員)
 宝珠山 祐晴さん (2番員) 坂本 智宏さん (補助員)

● 5年に一度の全国和牛能力共進会
長崎大会に出場



〈種牛区〉
 中原賢一さん 森信幸さん 赤峰稔彬さん 佐藤美知雄さん

〈肉牛区〉 森利博さん

平成24年度一般会計補正予算(第2号)

補正額	164,569千円
補正後予算	7,462,440千円

◆補正予算の主なもの

1. 補正の概要

①平成24年度九重町一般会計補正予算(第2号)

平成23年度決算剰余金に伴う繰越金の追加、地域防災計画の見直しに伴う災害被害防止緊急対策事業の追加、学校再編計画の見直しに伴う統合中学校開校準備等経費の追加、7月の豪雨被害に伴う災害復旧費の追加。

統合中学校スクールバス運行业務委託を平成25年度から平成27年度までの3年間、限度額141,750千円とする債務負担行為の設定一件。

2. 歳出の補正概要

①日本・モンゴル国交樹立40周年事業(九重ステージ)補助金(500千円)

国交樹立40周年を記念して、別府(中央ステージ)、宇佐市、九重町で記念事業を実施するための経費を追加するもの。実行委員会を設置し、NPO法人大分人材育成・地域文化交流協会と連携して事業を実施する。

②大分県買い物弱者支援事業補助金(5,474千円(県補助金4,692千円6/8 町782千円1/8))

移動販売により、商店から遠隔にある小規模集落の買い物を支援するための補助事業にかかる経費を追加するもの。関係機関などによる小規模集落買い物対策協議会を設置し、販売集落などの検討を行い、移動販売を実施するための販売車購入費などを助成する。なお、自己負担は1/8。

③見守り支援システム導入業務委託(5,006千円)

高齢者の見守りシステム構築の一環として、平常時・災害時の高齢者、要援護者等の情報の一元化を図るためのシステム導入にかかる経費を追加するもの。

④森林環境保全直接支払事業補助金(800千円(町は事業費の17%負担))

森林の環境保全のための除間伐事業に対して、当初、対象とならなかった26年生以上が国庫補助の対象となったことに伴い補助金を追加するもの。

本定例会は9月11日から27日までの17日間開催されました。議案16件、
 発議2件、陳情1件、慎重に審議しました。

教育委員の任命に同意

現教育委員の宮柱若子氏が平成24年10月7日で任期満了となることから、その後任として衛藤和子氏を任命することに、同意しました。



衛藤 和子氏

現教育委員の河野浩治氏が平成24年9月30日で任期満了となることから、同氏を再任することとで同意しました。



河野 浩治氏

現教育委員の古後粒勝氏が平成24年10月7日で任期満了となることから、同氏を再任することとで同意しました。



古後 粒勝氏

補正予算Q&A

遊具

Q 遊具撤去に80万円計上しているが、撤去する公園数と遊具数の数を教えてほしい。

A 町が管理する公園に設置された遊具の中で危険性が高いものを撤去するための予算で4公園にて8個の施設を予定している。

飯田中学校

Q 飯田中学校の統合に向け臨時職員の人件費を計上しているが、生徒のメンタル面の対応は十分なのか。

A 2名の人件費は、飯田中学校の統合に対して、備品や、図書の整理等を中心に対応してもらおう。生徒の心のケアについては、専門性も必要であり、その面も配慮し、スクールカウンセラーによって対応する。

野球場

Q 野球場の内野部分改修に対する工事の設計委託に70万円計上しているが、将来的に必要な外野の改修設計も同時に委託した方が、別々に委託するより経費削減にならないか。

A 今回は内野のみ改修の設計委託金70万円であり、外野も同時に行なうと、2千万円程の莫大な予算が必要となり、今回は内野だけの改修で予算を計上した。

見守り

Q 見守り支援システム導入業務委託について、個人情報取り扱いについては、どのように対応を考えているか。

A 危機管理・社会福祉協議会・ふれあい生活課の情報一元化のためであり、十分に配慮し対処したい。

議会改革特別委員会だより

住民の意志を代表する機関として、開かれた議会を目指した議会改革の取り組みとして、お出かけ議会を開催しています。過去2回実施する中で、もう少し地区を細かく訪問して欲しいとの要望に応え、今回は4地区を更に細かく（左表参考）お伺いする事にしました。

これまで、参加された方々からは、参加して良かった、との声も頂いております。

お忙しい事と思いますが是非とも、皆様方の参加を議員一同、心より、おまちしております。

〈このメンバーでうかがいます〉

	議員改革特別委員		議員	議員
1班	江藤 一幸	大津留敏加	佐藤 勝憲	藤原 三治
2班	佐藤 明郎	池部 俊慈	小川 克巳	有吉 富生
3班	坂本 憲治	佐藤 博美	日野 康志	土井眞一郎
—	—	—	井上里子（フリー）	

★各会場
7時開始です

★みんな
来ちよくれ

第3回 お出かけ議会のご案内

〈11月7日（水）〉
1班 ①東飯田公民館
2班 ②川上集会所
3班 ③野上公民館

〈11月8日（木）〉
1班 ④野矢小学校
2班 ⑤東部集会所
3班 ⑥飯田公民館

〈11月9日（金）〉
1班 ⑦基幹集落センター
2班 ⑧南山田公民館
3班 ⑨淮園老人軽作業所

東飯田地区…2ヶ所
野上地区…2ヶ所
飯田地区…3ヶ所
南山田地区…2ヶ所

総務建設産業常任委員会 審査報告

議案
3件

可決された案件

議案第47号

九重町災害救助基金条例の制定については、災害発生時の被災者に対する迅速な支援や、町民の安心・安全な暮らしに繋げることを目的とした基金であり、可決しました。

議案第48号

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更は、九重町地域防災計画の見直しで、救助物資の整備を行うこととなり、事業計画表のその他の中に「災害時非常用備蓄品整備事業」を加え、町民の安心・安全の確保を図ることから、可決しました。

議案第49号

町税条例の一部改正については、寄付金控除に関して地方税法の一部改正や、大分県税条例と施行規則の一部改正等があり、本町においても一部改正して実施するものがあり、可決しました。

意見書

東九州自動車道北九州～大分～宮崎間の平成26年度までの全線開通を求める意見書(案)

「命の道・活力の道・生活の道」として東九州自動車道は、重要な社会基盤であり早期完成が望まれることから、意見書を提出することから意見の一致をみました。

地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書(案)

森林の公益的機能は、地球環境の保護や国土の保全、水資源の涵養や自然環境の保持など多岐にわたり考えられます。また、地球温暖化防止にも大きく寄与すると思いますが、安定的な財源が問題になることから、意見書を提出することで意見の一致をみました。



九重ふるさと館

委員会質疑

Q 人・農地プランの状況は。

A 現在、一地区において取り組むための準備が進められている。また、二地区では検討するため、説明会を実施した。

Q 人・農地プランの課題は。

A 具体的なメリットがまだ見えないこと。個人の土地に対する執着心、制度に一貫性がないことなど、多岐にわたり問題点が多いと考えている。

Q ふるさと館の状況は。

A 売り上げが少なく、経営状況は厳しい。協議会としても、今後についての検討を始めるとの報告をいただいている。

Q 大分県買ひ物弱者支援事業の内容は。

A 移動販売で、買ひ物弱者を支援することを目的としている。

対象地区は現在6地区を予定している。また、

相乗効果として、独居老人等の見守り対策にもなると考えている。

Q 菅原地熱井の試験運用状況は。

A バルブを絞った状態でも、かなりの出力があり、新たな配管が必要なことから、計画に遅れが出ている。

Q 防災士の120人養成には無理があるのでは。

A 各自治区で1人程度提案してほしいと伝えてはいるが、現状では厳しいと考える。また、消防団員や職員等で考えられないかも検討している。

教育民生観光常任委員会 審査報告

議案
2件

陳情
1件

可決された案件

議案第50号

ひとり親家庭医療費助成に関する条例の全部改正については、給付の方式が、医療機関に「一部負担金」を支払い、後日町の窓口で申請して、口座へ振り込み給付しているものを、1/2補助を行っている県と医療等関係団体と協議を行い、委託している支払機関から「一部負担金」を直接医療機関へ支払う方式に統一するものであり、可決しました。

◎このため対象者の一時的な負担がなくなり、煩雑な市町村への手続きが不要となりました。

議案第51号

各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正については、本来条例に記載されるべき「狭間生活改善センター」が、財産台帳の整理をする中で掲載されていない事が判明したため追加するものであり、可決しました。

陳情

受付番号第5号

「富迫生活改善センターの移転改築を求める陳情」については、建設から34年が経過し、老朽化や地盤の不等沈下による建物の劣化が著しく、国道バイパス整備事業により駐車スペースが狭くなる等、陳情の趣旨は理解できるとし採択する事となりました。



老朽化の進んだ富迫生活改善センター

社会教育課

北代町有地の住宅建設

Q 北代町有地の住宅建設用地における遺跡調査の状況と建設着工予定については。

A 遺跡調査は、本年度末までかかり、住宅建設着工は、来年度になる。



遺跡調査中の北代町有地

社会教育課

泉水グリーンパークの

Q 泉水グリーンパークのグラウンド整備について、その後どうなったか？

A 開設後30年を経過し、グラウンド、コミセン、キャンプ場など施設の老朽化が進んでいる。平成19年度にリニューアル改修を行っており、今年度はコミセンの屋根の改修工事、水道改修工事など行いが、今後、スポーツ合宿、スポーツ観光を推進する上で、将来的に施設のトータル的な整備、管理運営を考える必要がある。



屋根の改修が行われるコミュニティセンター

第2回 臨時議会
8月16日

陳情受付番号第3号

飯田地区長会から出された「飯田中学校の統合を進めることを求める陳情」と、陳情受付番号第4号、飯田地区保護者有志一同からの「飯田中学校を来年度から統合することのないよう検討を求める陳情」の2件、「来年度からの統合に反対する」とした趣旨で集められた610人分の署名については、統合反対の陳情を採択（日21年）後、時間の経過と共に飯田地区からの区域外就学を望む声が多くなっていることや、当初の予測以上に児童生徒数が減少する見込みであること、そして耐震診断の結果による校舎の改築を行うにしても多額の費用を必要とするため、将来的生徒数の減少率を考えた場合でも全面改築については費用対効果が得られにくいといった実態もあり、陳情受付番号第3号は採択となりました。受付番号第4号は、相反する事から、不採択としました。

ずばり町政を問う

佐藤 明郎



児童・生徒の命を守る いじめ問題の課題と対策

学校・家庭・地域一体で

佐藤 この問題に対し、学校現場に求められているものは何だと。

教育長 教師と子どもの間に信頼関係があれば、最小限に防いでいけるのでは。日常の集団づくりを再度みんなど見ていく事により、互いを認め合う集団になれば。

● 評価システム

佐藤 今、現場で導入されている、教職員の評価システム、昇進に大きな影響、先々昇給にも反映、この制度により教師集団の信頼関係に悪影響、しいては、子ども達にとってマイナスになる危険性は。

教育長 評価システムが人間関係を阻害していると思えるべきではないと思う。

上司が部下を評価、そ

れを数値に表す事は非常に厳しいが、そこは乗り越えねばならない。

佐藤 評価を恐れ、悩みやクラスの課題を担当が他に相談できず一人で抱え込む。上司の機嫌を取る。管理職の方も、現場や地域の声より教育委員会の対応を優先する等の問題点も多い。教師集団の中で、各々の課題を積極的に共有する姿勢を良しとする評価を設けるなど、改善すべきではないか。

教育長 教育長会議でも、各市町村の教育長も同じような意見ですが、すでに実施されており、受け入れて実施していかざるを得ない。御指摘は、しっかり受け止め、制度の見直しも含め、県教委に伝えていきたい。

● 発生させない為に

佐藤 どの報道を見ても問題が発生した後の対応策ばかり、発生を防ぐ為の議論が聞こえて来ない、この事こそが大きな問題ではないかと思う。

教育長 親の手助け、地域全体の手助けもいただきながら、一緒に学校と関わりながら、解決していく、この姿勢を強く持たねばならない。
佐藤 逆に加害者の側も、大人社会の犠牲になっていく場合もある。

教育長 同じ思いです。自分と違う存在を認め合



連日報道されるいじめ問題

う、相手を思いやる、他人に押しつけない、こういう事が出来ていけば、又、地域の中に相談できる雰囲気が出来れば、子どもの自尊心、自己肯定感も育つのではないか。

● 自分の心も痛い

佐藤 大切な事は人の痛みを感じる事「自分の発言や行動で相手が嫌な思いをしたり傷付いたら、自分自身の心も傷つく」この事を、家庭、地域、学校が、ぶれずに一貫して子ども達との関係を徹底していければ、少しでも発生を抑えられると思うが。

教育長 同感です。機会あるたびに教職員の集まりで人権教育の大切さを訴えております。ある意味でこれは道徳です。家庭が役割をしっかり持てば、子どもの人権感覚は育ちやすい。学校現場でも、家庭に協力をいただきながら、力を合わせていきたい。

町営のFMラジオ局を設置できないか



藤原 三治

効果があればやってみたい

● 町営のFM局を設置はできないか

藤原 小国、湯布院が開局、放送しているFM放送局。観光案内や、農産物の市況、宿泊や渋滞、雪積、災害等の情報を車中や農作業、山仕事中でも聞く事ができ、雇用に繋る町営のFM局を九重町でも開局放送してはどうか。

● 効果があればやってみたい

町長 電波範囲が半径10キロの「コミュニティFM局」。認可と技術者、機械設備や人件費も、相当なものが必要と思われる。それだけの効果はあるが、実際に見て効果があるという検討結果になれば、やってみたいと思います。



FM 小国の中継車

● 動く広告板の設置は

藤原 町内の観光会社所有するバスの後面に大吊橋等の写真を貼って頂き動いてもらっては。あらゆる観光地やサービスイリアで全国の人の目に止まり大きなPR効果が期待できるのでは。



動く広告 大型トラック (イメージ)

● 長距離トラックに計画中である

町長 まだ実行していないが長距離トラックの両サイドに大吊橋のフィルムを貼る方法を計画している。バスについては検討したいと考えています。

● ミヤちゃんをパソコンの壁紙に

藤原 にしだあつこさんの作ってくれた我町のマスコットキャラクター、ミヤちゃんや九重町の春夏秋冬の写真を全国のパソコンの壁紙や待ち受け画面に提供し町のPRをしたらどうか。



ゆるキャラグランプリ2012開催中 全国から600以上エントリー。一日一票投票して、ミヤちゃんの上位入賞を応援しよう!

● どんどん宣伝していきたい

町長 壁紙とかについては申請すれば可能と考えている。町のマスコットキャラクターミヤちゃんは、あらゆる媒体で宣伝してほしいと版權が解かれ、どんどん宣伝していきたいと考えている。

● 町に再生エネルギー 専門部署を

藤原 時代は地下資源から自然資源、再生可能エネルギーへ大きく動いている。30年までに国は原発ゼロに向けて50兆円を投資との方向の中で、我が町の地形と自然を生かして、小水力の調査研

● 相談は 企画調整課へ

町長 メガソーラーや河川を使った小水力発電等や地熱も含めて民間から相談もあった。国や県で

究、町民の相談に対応する担当の部署を作ってはどうか。



水力発電で精米していた施設



今なお使えそうな水車

あり、モデルをつくって発電の事業を募集をしているので紹介したいと思っています。相談は企画調整課へどうぞ。

その他、買い物弱者支援事業といきいきサロンの支援について質問しました。

佐藤 博美



捕獲報奨金の増額を

統制を取るのには難しいが経過をみたい

● 捕獲報奨金の増額を

佐藤 防護柵の設置も進んではいないが隙間をくぐり、掘ったり破ったり、被害は後をたたない。有害鳥獣の猪は捕獲が一番と考えるが、せっかくの捕獲報奨金も、それぞれの猟友会が半分以上の手数を差し引いて、個人に渡されている。これではワナの修理代も捕る意欲もでないと思われる。もう少し個人の意欲が増すよう増額はできないか。



被害にあった水田

● 統制を取るのには難しいが経過をみたい

町長 有害鳥獣のイノシシや鹿は基本は捕獲に尽



捕獲されたイノシシ

きると考えるが、昨年より下回る交付金で抽選して柵の設置を行い、残りの15地区は来年以降というのが現状。町も単独事業で、更新手数料の補助、電気柵の設置、猟期内の捕獲報奨金を継続して取り組んでおり、猟期内はイノシシ3000円、鹿2500円に鹿のみで県が2500円上乗せし5000円となっている。猟期外の捕獲はイノシシ8000円、鹿12000円となっており、報奨金の配分については、各分会に指示しておらず、把握していません。年三、四回の連絡会議を通して配分方も提案してみたいと思っています。

● 観光協会が運営しているクロスカントリーの利用状況は

佐藤 7月にオープンした飯田のクロスカントリーコースの利用状況は。

● 順調に推移している

町長 有名な宗監督や専門家の方が絶賛する高立地、条件に恵まれており、観光協会に補助をして協会の施設として作ったコースであり、7月22日オープン以来、7月の10日間でチケットの購入者が1290人。8月は2833人、チケットの売り上げ金額は84万2千円となっている。コースの利用期間は4月から11月までとなっているが、オープン以来多くの利用があり問題も生じている。

● 傷んだコースの今後の方向性は

佐藤 全国的にブームになってきているスポーツ観光、恵まれた自然の中で作ったコースも今年の長雨と排水の問題もあり多くの利用者が走り芝が傷み走れない場所が多い。来年も来て使ってくれるか心配である。今後に向けてどのように考えているのかを聞きたい。

● 急遽改修工事を進んでいる

町長 雨が多い中で余りにも利用者が多すぎて日陰の部分は芝の活着が特に悪く、急遽迂回路を作り、樹木の伐採や排水工事、芝の張り替えを行い、養生をしながら来年に向けて準備している。悪評が立ったり、コースが使えないと言うような状況が悪い宣伝とならないように、運営委員会を立ち上げて協議をしている。



雄大な自然の中を走る選手達

携帯基地局・事前説明を!



江藤 一幸

町の要望として通知する

● 携帯基地局 事前説明を!

江藤 携帯電話の中継基地、設置時には、周辺住民が非常に電磁波の心配をされている。設置前に行政区に説明されるよう事業者に再度行政より申し入れをしていただきたい。現在建設中も含めて何基設置されているか。

● 町の要望として通知する

町長 基本的には住民説明を行っているのと聞いている。

事業者側も必要に応じて、要請があれば説明会を行うとの事である。町の強制力はないが、町の要望として主要3社に対して通知を提出する。中継局運用中は、3社で73基である。



携帯電話中継基地局

● 人材育成

江藤 町が求め、必要とする人材像は、基本的な考えとして、個々が我が家の所得のレベルアップを目指し、確保し、地域や町政、地域社会に貢献する。そんな人材をどう育成するのか。

● 整理をし、議論する

町長 『日本一の田舎づ

くり』を提唱し、自立に向けたまちづくりを進めている。その基礎にあるのは人であり、人づくり、人材育成だと考えている。基本的には、町民の主体性に寄り添うことだが、職員の企画立案能力も含めて整理し、具体的なものが出せるように、本格的な議論をしたいと考えている。

● 20年間でふりかえって思うことは!

江藤 町長職の20年間でやり残した事、次の4年間で具現化したい事は何か。

町の財政は、20年間で県下でも上位になったが、町民の各家庭の財政をいかに豊かにするかが『定住1万人プロジェクト』のキーワードと思うがいかがか。

● 具体策をもち対応!

町長 前町長の財政立て直し路線が有り、それを実行し財政健全が出来た。集中と選択の中で実行した。

生活排水処理施設を計画したが、財政の問題で合併浄化槽でやる事にした。今後、総合こども園も早くやりあげ、高齢者の見守りも実行したい。総合計画を町を挙げて、達成すべく努力して行きたい。



人材育成事業を活用した講演会



今年の議長杯は雨のため延期となりました。参加チームの皆さんです。

第15回 九重町議長杯 少年野球大会

平成2年10月13日
東飯田中学校



県体9年ぶりの3位入賞
◎玖珠郡合同チーム(津久見市民球場)

県民体育大会

議員ソフト 3位入賞!

9月に開催された県民体育大会で玖珠郡チームは杵築市、宇佐市と対戦し勝利、準決勝で大分市に敗れましたが3位に入賞しました。

あたしのひとこと

わたしのひとこと

東飯田下旦四
穴井洋一郎さん



町民が考える町づくり会議に出させて頂き半年が経ちました。生活の拠点となる自分の地区を考える時、子どもの頃の風景を思い出します。

恵良駅周辺にも商店街があり、食堂、魚屋、時計店、電器店、肉屋に焼肉屋と軒をつらねていました。

そこに子どもから高齢者までが景色にとけこみ、豊かさを感じていました。

年に数回行なわれるお祭りも地区をあげて活気にあふれていました。

そして自動車社会からITの時代に入り、違った豊かさを求め町の形も変わっていききました。車の

移動範囲には大変便利な商業施設も公共施設もあります。

しかし少子高齢化も進み、特に高齢者に便利さのツケが廻っているのが現実です。

九重町の掲げる「日本一の田舎づくり」は高齢者が不安を感じる事なく豊かに生活出来る町づくりなのではないかと考えます。

私も町づくりを思う時、自分の目線だけでなく、異なる世代の方の目線でどう映るのか考えてみたいと思います。



魅力的な果物

ブルーベリー

南山田串野上
梅木 香織さん



私は、九重町町田でブルーベリー摘み取り農園と石窯ピザの店「ベリージュファーム」をやっています。

標高650mの畑には50種類約1、200本のブルーベリーも栽培しており、品種によって収穫できる時期や果実の大きさなど様々です。

ツツジ科に属するブルーベリーは春には花、夏には果実、秋には紅葉と四季折々楽しむ事ができます。

加工にも適しており、ジャムをはじめ、お菓子の材料として幅広く利用でき、私のお店でもジャムなどの加工品、スイーツ、ピザな

どに利用しています。

町内でも数ヶ所の摘み取り農園があり、ふるさと館や吊り橋の直売所などでも手軽に購入する事ができます。町内の方々にもっとブルーベリーを味わって、良さを実感してもらいたいです。

町内には数多くのホテル・旅館・民宿があり、ブルーベリーが収穫できる時期に、お食事の一品として利用して頂ければ、町内に観光で訪れたお客様にもPRができると思います。

これからもブルーベリーの魅力を追究していきたいと思っています。



ブルーベリー

思い出のアルバム No.11

傍聴へ どうぞ

次回は12月です



野上中学校旧校舎全景 (昭和40年代 撮影)

◆ お手持ちの なつかしい写真をお貸してください

写真提供：野上中学校

編集 後記

◆ 66年の長い歴史、多くの卒業生を輩出して来た、各地区4校の中学校。来年3月で閉校となり、新たな歴史の幕開けを迎えようとしています。

◆ 今の中学校は戦後の昭和22年4月が開校の年となります。

◆ 開校一年生は昭和7年・8年生まれの人たちで、80歳、79歳となります。議会だよりを作成にあたり身近に歴史を記録として残すため、又思い出していただければと考え、なつかしい写真集を掲載しています。

◆ 時代は変わっていきませんが、九重町民の絆はいつまでも大切にしたいものです。

坂本 憲治

- ・ 広報委員長 坂本 憲治
- ・ 副委員長 藤原 三治
- ・ 委員 日野 康志
- ・ 委員 大津留敏加
- ・ 委員 池部 俊慈
- ・ 委員 佐藤 明郎